



夢

Milking a Illusion Girls

少女
むげんしやうじょ
ほり

白豚三カ
created by shirone mia

立ち読み版

成年
コミック

二次元ドリームコミックス

[chapter.5]
おね喰い
087


Contents
MILKING O ILLUSION GIRLS
created by atsuro ohno - presented by the anime community 01 dream comics series
【目次】

[chapter.6]
巨人の贅
111

[chapter.1]
泡沫夢幻の女海賊
005

[chapter.7]
魔子転生
131

[chapter.2]
戦乙女月海 ~受胎契約~
027

[chapter.8]
母の敵に壊される
151

[chapter.3]
そこにいる。
047

[chapter.9]
尽きる。
173

[chapter.4]
神様のいない村
067

泡沫夢幻の 女海賊

THE HISSONON-PIRATE

おかげ様で
すっかり元気に
なりました!

体調はもう
大丈夫なの?
一週間も
漂流してたん
でしょ?



「武器を
持たない者からは
奪わず殺さず」



…てのが
ウチの一家の信条
だからね
同業者からしか
お宝は奪わないよ

はははっ

変な
気を遣わなくて
いいんだよ
海賊なのは
本当だしね

まさか海賊の方に
命を救われるとは…
…あつ
すみませんっ!!



…マジムカつくぜ

イラ

こんな義賊ごっこするために俺らは船に乗ったんじゃねーんだぞ
死んだ親父の遺言なんか真に受けやがって…

さっすが船長っすよ！

かあ…

美人で巨乳で気立てもいい！一生ついていくっす！

ば…バカ!! 客人の前でみっともないでしょ!!

前船長が死んでやっど好き放題やれると思っただのによオ…

あんな自分の子供くらい歳の離れたガキに顎で使われなきやならねーんだ

まあ…
呼ぶにはエロい身体しすぎだけだな

船長でなかったらとっくに組み敷いて孕むまで種付けしてやるのによオ…

なあ…俺に考えがあるんだが…

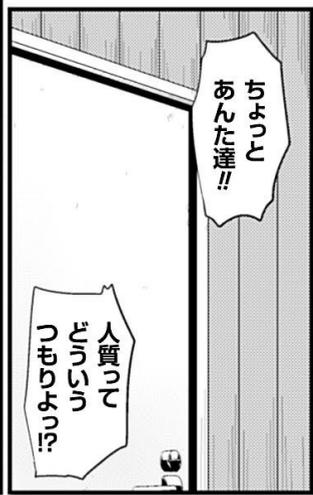
…一枚噛んでみないか？





子…っ!?
い…言っ
てくれるじ
ゃない…
私に不満がある
ならサシで勝負
しなさいよ!!

俺達あもう
あんたの下で
働く気は
ないんすよ
子守はいい加減
うんざり
なんス



ちよつと
あんた達!!

人質って
どういう
つもりよっ!?



船も部下も
奪わせない!!



そういう所が
ガキだって
言ってるんだよ
俺達は
ただの盗賊だ
手段は選ばん

それでも
あんた達誇り高き
海の戦士な
わけっ!?



こいつらの
命が惜しいなら
武器を捨てろよ
シヤロ船長
この船も
俺達が頂く
今日で船長を
辞めてもら

どっちもパバから
受け継いだ
仲間なのよ!!

今戦っても
船長に勝ち目は
ないぜ？

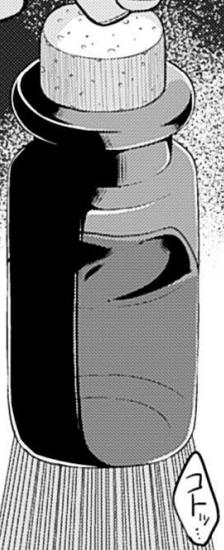
俺らだって
女子供を
力づくで…

ってのは
気が引ける

媚薬って
知ってるか？
船長

女の身体に塗ると
セックスしたくて
たまらなくなる
お薬だ

これを船長に塗って
一週間耐え抜いたら
俺らはおとなしく
船を降りる



そこで
平和的解決法を
考えたのよ

あんたらの
粗チンなんて
欲しがるわけ
ないでしょっ!!

いいわっ…
その勝負受けて
あげるっ!!

処女が粹がり
やがって…

海の戦士の
誇りにかけて
二言はねーな？

船も皆も…
私が
絶対守って
みせる…!!

でも船長が
性欲に負けて
俺らのチポを
欲しがったら

俺らに船を譲り
船長には肉便器
として一生この船で
働いてもらう

かあ

ス
チュ
ッ

び
ん
び
ん

あぁっ…

つぐみ
月海っ…!

ううっ…

ごめん…
なさい…

お姉…
ちやつ…

はぁ

はぁ

ガッ

ガッ

戦乙女月海 つぐみ

~愛胎契約~

忌々しい
戦乙女の
小娘め…

手ごしらせ
おっつ

しかし年若い
お前だ
利用価値は
ある

その命…

もう自分の物だと
思うなよ?

うっ…
くっ…

数日後…

た…

魂の契約書…？

そうだ…
その名の通り
お互いに
魂を賭けて
誓いを交わす

一度契約が成立すれば
契約主の意思に關係なく
誓いは必ず果たされる

…必ずな

綺麗な身体
のままだろう…

ん…

戦乙女
ツクミよ？

おに

おに

やつ…
いやつ…!!

そんな物に
何の意味が
あるのですか…

私を含め
全ての戦乙女達は
既にあなた達マモノの
手中にあるはず…

これ以上私達から…
何を奪おうと
言うのですか…

奪う？

まだ何も
頂いていないが？



やっ…
いやあああ…っ!!

疲弊しきつた
お前を
無理矢理犯すのも
一興だが…
それでは
その辺の村娘を
犯すのと
何ら変わらん…



長きに渡る
戦争のせいでは…
我々は今
メスの身体に
飢えている

ひっ…



『戦乙女月海に
種付けする毎に
姉妹を一人ずつ解放する』
事を誓おう

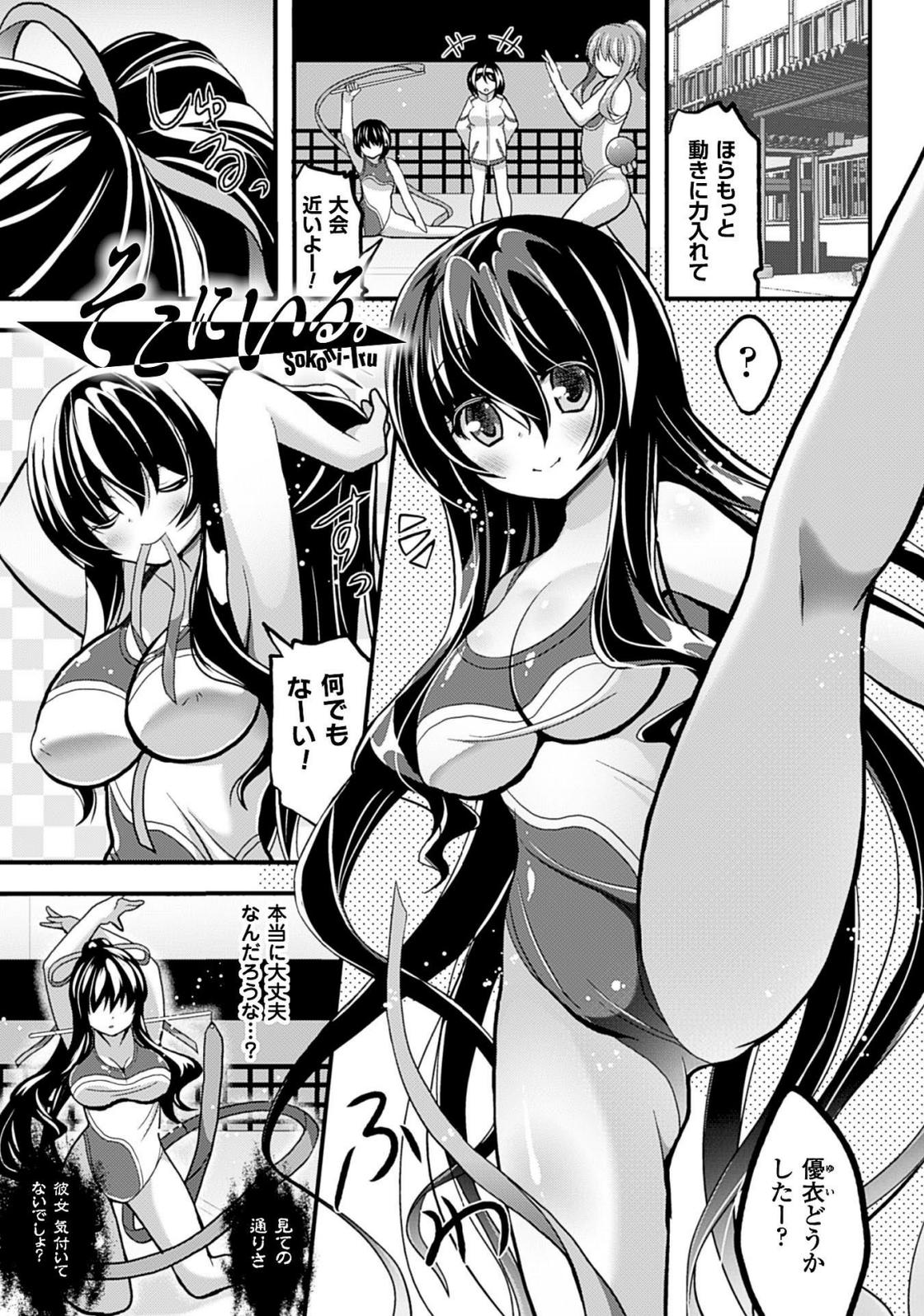
俺はこの
契約書に…

そんな事
されたら…!!



俺はお前への
陵辱にゲーム性を
求める事にした
そこで先ほどの
契約書だ

たっ…たっ…
種付けって…



ほらもつと
動きに力入れて

大会
近いよ!

ここにいる
soko ni i-ku

?

何でも
ない!

本当に大丈夫
なんだろうな...?

彼女気付いて
ないでしょ?

見ての
通りさ

優衣^{ゆい}どうか
したー?

すげえな…

マジで透明人間に
なれるなんてよ…ッ!!

お前ら!

何
サボってんだ!!

おど

私達まだ
休憩中ですっ

おど

腑抜けてんじゃ
ねえ!

か

大会
近いんだぞ
オイ!!

か

無理して
身体壊す方が
大変です

す

あア?

顧問なのに
そんな事も
わからないん
ですか?

何イ…?





先生は女子のおっぱいが揺れてるところ見ただけでしょ？

ゆ優衣…

あぁ

ぼん…

何だと 貴様ア…ツ!!



武場の奴！ 調子に乗りやがって！

あの方が！ 絶対いつか！ 犯すツ!!



皆言ってますよ 目つきがいやらしいって もういいから…

イラ チッ…

イラ



なっ… 何だ お前ツ!?

ぼん…

俺にとつての 人生の転機 それがこの幽霊との 出会いだっだ！



だったらボク達 いい友達に なれそーだね



俺のガキ孕ませて… 産ませて… どっちが上なのか 身体に教えてやる…ツ!!

イラ イラ

何度も何度も 無責任中出しして

やっぱり
優女って子…

ボクを
イジメていた
あの女に
似てるなあ…

ぽそ
ぽそ

おじさん
あの子を犯したいん
でしよう…
その手伝いを
してあげるかどうかな…

ボクを自殺にまで
追い込んでおいて

大人になた自分は
子供作って幸せに
なってるんだもん…

確実に
孕ませてやれ
ってこったろ？
言われる
までもねえ

許せないなあ…

ぶら壊して
やりたいなあ…

あの女の
泣き顔が
目に浮かぶよ

ズイ…

本当にありがとう
エルフィンちゃん

おかげで
今年も麦が
豊作だよ

人間の俺らには
思いつかないような
耕し方だもんな

エルフって
すげーよ

村のしん様の神

いえ…

怪我で倒れていた
私を介抱して
下さったんです…

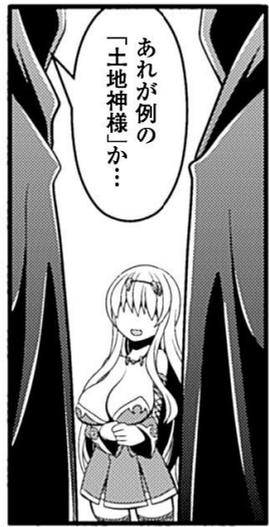
せめてもの
恩返しですわ

里の皆は人間を嫌っていたけど…



それは人間の事を知らないだけ
彼らはこんなにも心優しいのに…

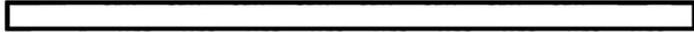
あれが例の「土地神様」か…



間違いないえ…
あんな器量よし…

人間なわけがねー

ありゃあ間違いないこの土地を守護する神様じゃ…ッ!!



どうか無礼をお許し下され…

土地神様ッ…!!

ハハ



なっ…

と…土地神…っ?

ハハ



何なんですか…あなた達はっ…!?



話には聞いて
おります…



貴女様が
隣村に降臨されて
以来豊作が
続いていると…

そんな訳が
ありませんッ！

村が豊かに
なったのは
エルフィン様の
おかげだと…

あなたの
村の奴も
言ってるん
ですよッ！！



もうこの村は何年も
不作続きで蓄えも
残っていないんです…

どうか
この村にも
神のお力を…
…ッ！！



それは…
私は畑の耕し方を
少しアドバイス
しただけで…

それに力を貸そうにも…
土や肥料の研究に
とても時間がかかって
しまいますから…

まっ…待って
下さいッ！！

私はただの
エルフです！
神様などでは
ありませんッ！！



すぐには…っ

ぽん

まご君も
一緒に入れば
いいのに

私だけ入っても
混浴スバの意味
ないじゃん

おね喰

彼女が彼氏を
旅行に連れ出す
意味わかってる
のかなあ…

あっ
誰かいる！

積極的に
アプローチして
るんだから…

そろそろ…

ぶく
ぶく

おね



ねーちゃん
ほんと
おっぱい
でけーな

そりゃあ…

おっぱい…

にや にや
うちの
母ちゃんよりも
ずっどでけえ

女の子の
身体に興味を
持つ年頃かも
しれないけど…

こんなに
シロシロ
見られるのは…

さすがに
抵抗あるなあ…

こんなー達に
見られたって
何とも思わな
いでか…っ







痛ッ…!!



せうしー

キミ達
いい加減に
しなさいっ!!

うわッ…



それは君達が
あんな事
するからで…

ちょっと
待ってよ!

でもケガさせ
たんだから
責任は
取れよな!



ごっ…
ごめん!
大丈夫…

いってー
手擦り
剥いた!
ここ!
超血
出てるし!

父ちゃん達に
チクろうぜ!

そんな事されたら
まじ君にまで
迷惑掛けちゃう…!!



せ…責任って
どうすれば…

我が盟約に従い

光の精霊よ

敵を

貫けっ!!

お疲れ様

もうちよつとで
このダンジョンの
マッピングも
終わるからね

精霊術師
ロツテ

巨人の誓

SACRIFICE OF THE GIANT



他の冒険者と
パーティーを組んで
楽をさせて
あげたいけど…

ごめんね…

んっ…

やだ…

はるん

はるん

また…っ

うん…
少し休憩に
しようね…



沢山飲んでいいから...

もうちょっとだけ頑張ってるね...?

乳首... 噛んじゃダメだよ...?

ぽん

ぽん

ぽん



この母乳体質のせいで仲間と一緒に冒険が出来ない...

定期的に搾らないと服が濡れちゃうし...

ぽん

この子に母乳吸われて... 私... 感じちゃうって...

ぽん

オイ
オイ…

えっ!?

ら…

人間のガキ
じゃねーか

俺様の
縄張りで…

雌の匂いを
振り撒いてる
ヤツがいると思つて
来てみれば…

きよっ…
巨人…っ!?

ますい
ますい
ますい…っ!!

今の私力で
勝てる相手じゃ
ないよ…!!

不意を突いて
逃げるじゃ…っ

あ…
アジュレっ!!

やかま…

しいッ!!

ご…ごめん
なさいっ…

私…

きやあ
あああっ…!!

ほお

ほお

さあて…

どうして
くれようか…

ひっ…!!

この
ダンジョンの事
よく知らなくて…

その…
あの…

ガキが…

泣けば許して
もらえらなかも
思ってたのか?

ああ!?

オオオオ……
このオオ……



小娘風情
がアアアアアア!!

魔子転生

マコテンセイ

ふーっ……

見てた？
見てたっ？
お兄ちゃんっ！
詩織しおり 今日も
役に立った
でしょっ？



お……

退魔は見せ物じゃ
ないんだぞ？
危機感ももつと
持たねーと……

悪魔は
狡猾なんだ
いつか奴らに
足を拘われ
ちまう

まだまだ
半人前
一人前には
程遠いな

ちえーっ……

ちよとくら
変めてくれても
いいの……



ズズ……



身体の
修復は…
完了したよ…



心臓を
裂かれたんだ…
生きている
はずがね！…

死体を治して…
何の意味が
あるんだよ…ッ！！

彼女だって
退魔師なんだ



詩織は…
生きられた
のに…ッ！！

何が…
半人前だ…
クソッ…



…死ぬ覚悟は
出来ていた
はずだろ

…そんな覚悟
出来てたわけ
ねーだろッ！！

詩織はまだ…
…
なんだぞ…ッ!?
俺が油断なんか
しなれば…
息を潜めていた
悪魔に少しでも
早く気付いて
いれば…



何だって
…ッ!?



詩織ちゃんを
救う方法が…

ひとつだけ…
ない事もない



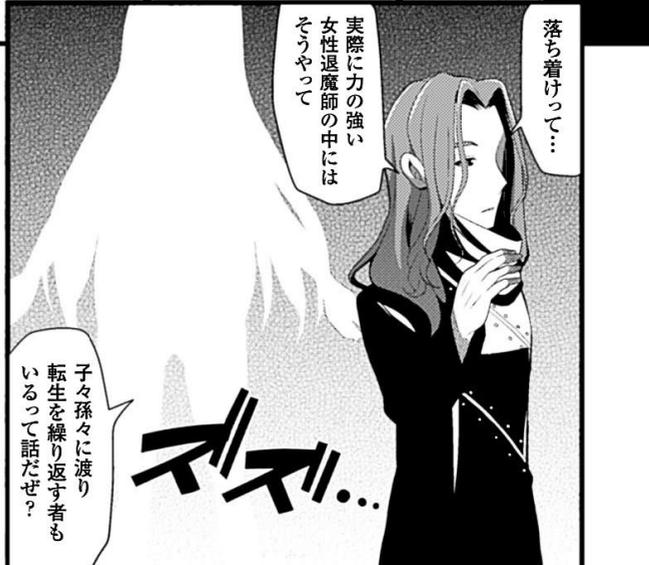
空っぽになった
彼女の死体に
代わりの魂を移し
妊娠して…
子供を産むんだ

はあ…ッ!
ふざけてんのか
お前…ッ!!



流石に記憶の
継承までは
無理だが…
産まれた子供は
彼女の
生まれ変わりに
違いない…

しかし…
そんな邪法
みたいな事…ッ
詩織の意思は
どうなるんだ
よ…ッ!!



落ち着けて…

実際に力の強い
女性退魔師の中には
そうやって

子々孫々に渡り
転生を繰り返す者も
いるって話だぜ?

ズレズレ…

詩織は無理して
退魔師なんて
やる必要は
ないんだぞ…？
長男の俺だけで
親父達は文句
言わんだろ？

詩織は
無理なんて
してないよ？

そりゃあ
悪魔は怖いし…
痛いのも辛い
けど…

知らない所で
お兄ちゃんに何か
あったらって
考える方が…
詩織は…
ずっと怖いもん…

だから
詩織はね…

お兄ちゃんと
いつも一緒に
いるの！



彼女の卵子を勝手に
使って彼女自身を
産ませる…
お前の言う通り…
これは詩織ちゃんの
意思を無視した
邪法だ…

おススメは
しないが…

詩織は…
詩織…は…



きっと…

俺にもう一度
会いたいって…
思ってくれるはず
だよな…？

…どうだ？
身体の具合は？



何か…
変な感じだ…
視界は低いし…
…胸が重い

女の子の
身体だからな
詩織ちゃんは
歳のわりに
特別発育が良い
みたいだし…

しかし流石に
驚いたぞ？



妹の身体を
使って赤ん坊を
産んだぞ？

兄貴としては
複雑な心境だと
思うんだが…

こんな役…
他の男には
任せられねー
だろ…

あ…あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…

詩織…
ずっと子供だと
思っていたのに…

俺の知らない間に
こんなに成長
してたんだな…

確かにこれが
一番詩織ちゃん
が悲しまない方法
なのかな…

まあ後は
がんばれよ

ああ…
ありがとな…

ミニス・
スチュアート

この盗賊団…
隊長から聞いて
いたよりもずっと
規模が小さい…

このまま追い詰めて
頭目を引きずり
たせれば…

ほあ

ほあ

ぬ

…

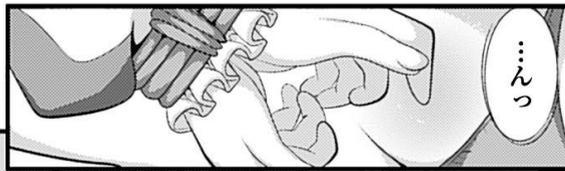
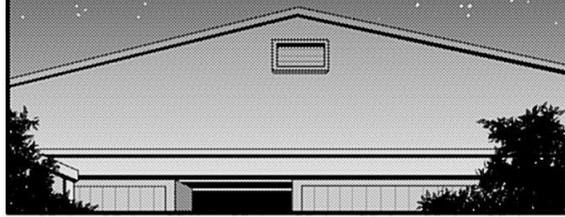
…えっ…？

母の
敵に
なされる

お母さん…っ



…んん
…っ?
…っ?



…んん



は…放して…
放して…
下さいっ!!

んあっ…

…ええっ!!?

なにっ

ぱん

ぱん

なにっ

ようやくと目え
覚ましたかい
騎士の嬢ちゃん

なっ…なん…
何なんですか
これっ…!?



初対面の相手を
親の敵を見るような
目で睨みつけて
くれるなよな！

どの口が
そんな事を…っ！

ははっ
ははっ



はっ…
バルドスっ!!

おっかねー
嬢ちゃんだなおい



私はあなたに
復讐しお母さんを
取り戻すために
騎士になったんです…

今すぐ
私のお母さんを
返して下さいっ!!



6年前
私の村を襲い



私の目の前でお母さんを
強姦し連れ去った事を
忘れたとは言わせません!!



おーおー
思い出したぞ
うん

あん時の
チビだな

母ちゃんに似て
犯り甲斐のありそうな
エロい身体に
育ったじゃねーかよ



まだ
ガキ産んでないぶん
嬢ちゃんの方が締まりは
よさそうだな

んん…
な…
何…を…っ!?



母ちゃんのま…この
使い心地はなかなか
悪くなかったぜ?

…このっ…!!

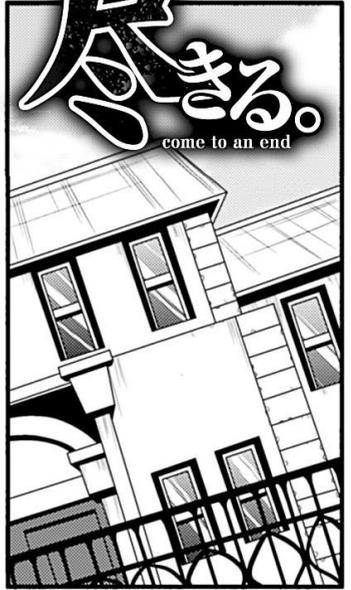
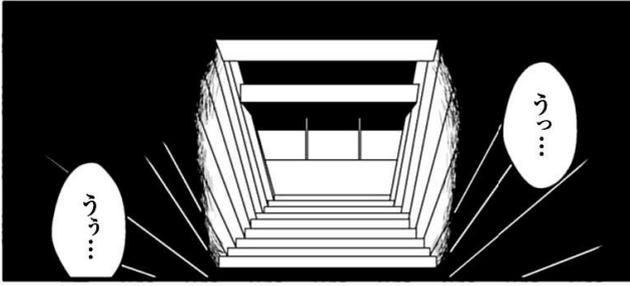


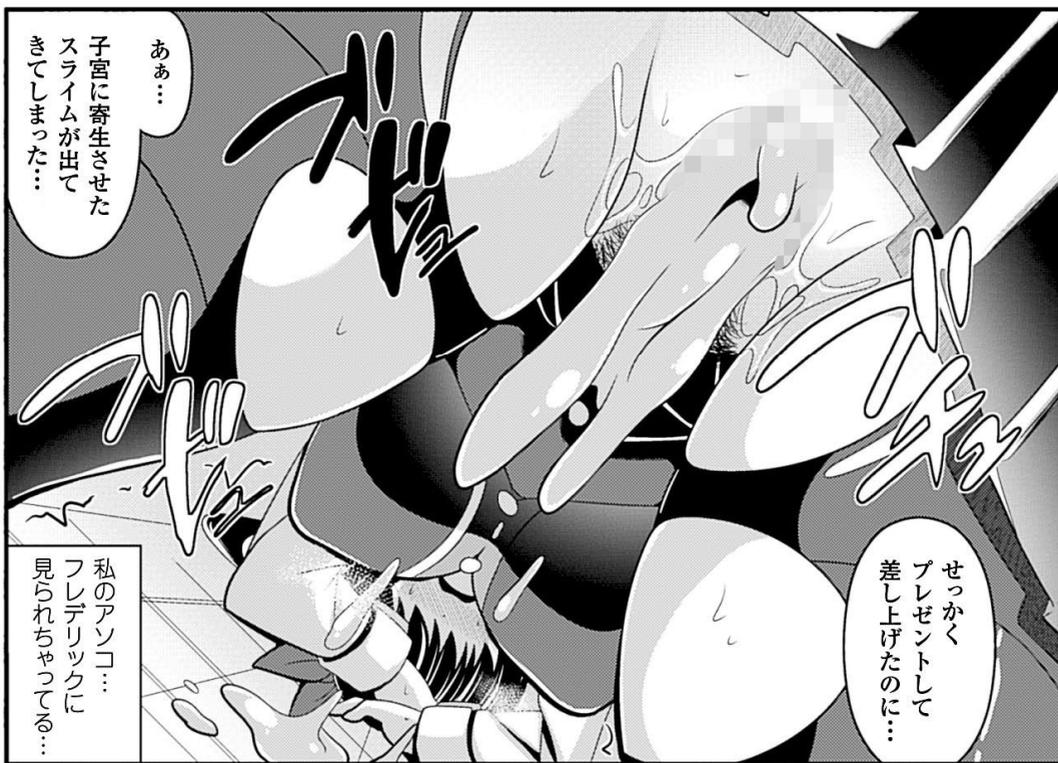
…んっ!?

んん…っ!?

尽きる。

come to an end







子供を
授かる神聖な
場所を…

好き勝手に
した報い…

うっ



…っ！

あぐっ…



おっと…

淑女たれですよ
お嬢様



たあああっ！

受け止めて
やるっ…！

この続きは製品版をご購入の上、
お楽しみください。

編集・発行

株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコウビル

TEL03-3555-3431 (販売) / FAX03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©KILL TIME COMMUNICATION Printed in Japan

<http://ktcom.jp/>

キルタイムコミュニケーション小説シリーズ あなたはどのタイプ?



ドキドキラブな
ハーレム系ライトノベル!

**二次元
ドリーム文庫**

サイズ:文庫

戦うヒロインが屈服されちゃう!
かなり過激なライトノベル!

**二次元
ドリームノベルズ**

サイズ:新書

※二次元ドリームノベルズは18歳未満の方は購入できません。

日常に密着したエロス、リアルな
舞台設定で送る官能小説レーベル!

リアルドリーム文庫

サイズ:文庫

フリーダム度120%!?
ジャンルにとらわれないドキドキ★ラブ!

あとみっく文庫

サイズ:文庫

詳しくはKTCの
オフィシャルサイトで!

キルタイム

検索



電子書籍版も各ダウンロードサイトにて続々配信!!

この続きは製品版をご購入の上、
お楽しみください。

編集・発行

株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7ヨドコウビル

TEL03-3555-3431 (販売) / FAX03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©KILL TIME COMMUNICATION Printed in Japan

<http://ktcom.jp/>